

船舶事故調査報告書

令和7年11月19日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和7年5月1日 16時05分頃
発生場所	京浜港東京第4区（多摩川河口付近） 東京国際空港飛行場灯台から真方位 130° 1.5海里付近 (概位 北緯 $35^{\circ} 31.6'$ 東経 $139^{\circ} 47.4'$)
事故の概要	プレジャーボート HIT FREAK I は、航行中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和7年5月13日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート HIT FREAK I、5トン未満（長さ 5.94m）
船舶番号、船舶所有者等	230-39974 神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船尾部船底外板に割損及び擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、航行中、多摩川河口付近の浅瀬に乗り揚げた。 船長は、乗り揚げた後、118番通報を行った。 本船は、海上保安庁のゴムボートによって救助された。 (図1 参照)
	図1 事故発生場所概略図（海図W1061）部分
分析	本船は、航行中、多摩川河口付近の浅瀬に乗り揚げたものと考えられるが、船長から必要な情報が得られなかつたことから、乗揚に至つた状況を明らかにすることができなかつた。
原因	本事故は、本船が、航行中、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。

再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・小型船舶の船長は、事前に海図やプレジャーボート・小型船用港湾案内等で航行予定海域の水路調査を適切に行い、水深や浅瀬の位置などを把握しておくこと。・小型船舶の船長は、浅瀬付近を航行する場合、航海計器等を使用して船位の確認を確実に行うこと。
-------	--